

船迫中学校の皆さんの「ラベンダーづくり活動」の感想を読んで！



柴田町教育委員会 教育長 船迫 邦則

船迫中学校の皆さんの校舎の前に咲き誇るラベンダーは、花のまち柴田にある学校にふさわしい、すてきな光景を私たちにを見せてくれていると感じております。そのラベンダーの花束と皆さんが心を込めてつくってくれたラベンダースティックを、先日、生涯学習課の職員を通じていただきました。ありがとうございました。また、生徒の皆さんや協力していただいた地域の方々の感想文を読ませていただきました。

3年生:「私たちがつくったラベンダースティックで地域の人を笑顔にできたら良いと思う」

2年生:「今回作ったスティックは農業体験や職場体験でお世話になる方々に渡す予定です」

1年生:「私たちのつくったラベンダースティックが地域の人に配られると聞きました。是非役立ててほしいと思い、一生懸命つくりました」

しばたっ子応援団の方々：

『おはようございます』元気な声をかけてくれた生徒の皆さん～中略～私は自然に笑顔になり、喜びを感じることができました」

「1年生～中略～悪戦苦闘。2年生～中略～昨年を思い出しながらなんとか。3年生～中略～慣れた手つきで上手に作っていました」等、

校長だよりに掲載された、生徒の皆さんや協力していただいた地域の方々の感想文を読んでいて、1年生から3年生まで全生徒の皆さんが、地域の方々のためにという思いをもって、真剣に取り組んでいる姿が目に見えられました。船迫中学校の皆さんには、これまでも、地域の方々から学ぶ「竹箒づくり活動」「落ち葉掃き活動」「船迫生涯学習センターや太陽の村へのラベンダー植栽」等を行っていただきました。心から感謝します。

今年度から、柴田町の小・中学校の児童・生徒の皆さんには、これまで各小・中学校が取り組んできた地域に貢献する活動を「地域貢献し隊」というネーミングで進めてもらっています。よりよい社会の創り手、そして幸せな人生の創り手となるためにどんな力が必要なのかを「地域貢献し隊」の活動を通して考え続けていただければ幸いです。

船迫中学校の皆さんの「ラベンダーづくり活動」の感想を読んで！



皆さんの感想を読ませていただき、次のような内容が多く述べられていることに気づきました。

- ボランティアの方々に教えていただいたお陰で楽しく上手にできました。
- ボランティアの方々の丁寧な指導により、きれいにしっかりできました。
- ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。
- ラベンダースティックが地域の人に配られると聞いて一生懸命作りました。
- スティックは農業体験や職場体験でお世話になる方々に渡す予定です。
- 来年もまたやりたいです。

これらの感想から、船迫中学校の生徒さんたちは「ラベンダーづくり活動」を通してボランティアの皆さんに対する「感謝の心」を表すとともに、地域でお世話になっている方々に対しても「感謝の心」を伝える意味からこの活動を一生懸命やっているということが伝わってきます。さらに、「私たちの作ったラベンダースティックで地域の人を笑顔にできたら良いな」という感想から、この活動の目的をしっかりととらえていると感じられ、この思いが、「来年もまたやりたい」という意欲に結びついていると思います。

東日本大震災から9年間、「被災された方々の心に届けよう」との思いから校地内に植栽し、愛情込めて育ててきたラベンダーは、現在は、太陽の村等にも植栽され、生徒さんたちと「しばたっ子応援団」の方々の協働によってスティックやポプリという形に生まれ変わって生かされ、学校関係者や地域の皆さんに届けられています。

ラベンダーの美しく優しい香りと、船迫中学校の生徒さんたちの感謝と奉仕の心が込められている「ラベンダーづくり活動」が船迫中学校の素晴らしい教育活動として、これからも継続されていくことを心から願っています。

柴田町教育委員 伊藤 誠